

# スポーツで健康づくりと交流を

## 市民交流スポーツ大会

を通じてさらなる市民の交流と一体感の醸成を図るため、7地域で7種目の競技を行う「市民交流スポーツ大会」を開催することとし、その最初の競技としてこの日、グラウンドゴルフ競技が行われたものです。

今後の大会は、次の予定で行われます。

- ▽ゲートボール：8月8日(室根きらめきパーク)
- ▽ソフトテニス：9月9日(千厩・清田テニスコート)
- ▽スローピッチソフトボール：

- 9月9日(川崎運動広場)
- ▽バレーボール：11月18日(大東体育館)
- ▽バドミントン：12月23日(一関市総合体育館)
- ▽卓球：20年1月20日(東山総合体育館)



青空の下、ホールインワン目指してナイスショット!

上位6人の合計打数で順位を決定する地域対抗の団体戦も行われました。選手たちは巧みなクラブさばきを披露して、ホールインワンなどナイスショットを連発。競技の結果、団体戦は花泉が優勝し、第2位に東山、第3位に千厩が輝きました。選手たちはお互いの健闘をたたえながら、交流を深めていました。

## 460人出場 合併記念ゲートボール大会

一関市ゲートボール連合会(小野寺藤雄会長)による「第1回合併記念ゲートボール大会」



70チームが14コートで熱戦を繰り広げました

は5月27日、一関運動公園陸上競技場で行われました。

市内7地域のゲートボール協会が統合し、4月1日に同連合会が設立されたことを記念したもので、市内から62チームと招待参加の平泉町、藤沢町から8チーム、合わせて70チーム約460人が出場しました。

競技は5チームずつが14コートに分かれてリーグ戦を行い、各コートの1位のチームの中から勝ち数や得失点差などにより順位を決定する方法により行われました。選手の皆さんは、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、チームメートの励ましを背に熱

戦を展開。垂れ込めた雨雲を吹き飛ばすような好プレーの続出し、会場からは盛んな歓声が上がっていました。

警清水チーム(千厩)の主将を務めた小野寺晃一さん(83)は、「合併でこのように大きな大会ができたことは喜ばしいこと。ゲートボールは年齢や性別に関係なく誰もが気軽に楽しめる素晴らしいスポーツです。ゲートボール好きの皆さんの人々からの交流も楽しみながら、これからも続けていきたいですね」と、笑顔で語りました。

競技の結果、新友会(一関)が第1回大会優勝の栄冠を勝ち取り、以下、準優勝に上楽寿会(同)、第3位に新山(大東)、敢闘賞に大原笠置(同)が輝きました。

## 花のまちづくり

# 舞川15民区自治会が国土交通大臣表彰受賞

一関地域の舞川15民区自治会(佐藤悦郎会長、会員60人)は6月2日、長野県で行われた「第18回『みどりの愛護』のつどい」において、地域の緑化・緑地の保全などの功労により国土交通大臣表彰を受賞しました。

6月4日、佐藤会長ら同自治会関係者が浅井市長に受賞を報告。浅井市長は「地域をいつもきれいにしてくださる感謝いたし

ます。みどりをみんなで守ることが郷土を愛することにもつながります。これからもよろしくお願ひします」と祝福しました。

同自治会は昭和56年から環境美化活動に取り組み、花いっぱいコンクールにも毎年参加。アイデアや栽培技術が評価されて常に上位入賞を果たし、新市合併後の昨年は、合併を記念して市章をデザインした花壇を作り、

奨励賞を受賞しました。

6月の花壇作りと定植作業のほか、花壇の管理や道路周辺の清掃などを自治会挙げて行い、丹精込められた花壇は、地域住民はもとより、県道を往来する観光客などの目を惹きつけてくれています。佐藤会長は「地区の交流の場として続けてきた花壇作りで思いがけずこのような賞をいただきました。これを励みに



昨年度の花いっぱいコンクールで奨励賞を受賞した同自治会の花壇

## 合唱のまちづくり

# 東日本合唱祭実行委に全日本合唱連盟感謝状

東日本合唱祭実行委員会は5月19日、東京で行われた社団法人全日本合唱連盟60周年記念式典の席上、「演奏機会の提供と地域の合唱普及に貢献し、合唱音



浅井市長に受賞を報告した同実行委員会初代委員長の阿部さん(左)、前委員長の尾形さん(中)

楽の発展に寄与した」として同連盟から感謝状を贈られました。

同合唱祭は、東日本各地の優れた団体を招いて演奏を広く市民に鑑賞してもらうとともに、招待団体と市民との交流を図るため、平成2年に文化庁などの後援を得て開始。これまで、北海道から岐阜県まで、17都道府県から延べ133団体約5200人が出演したほか、海外からもドイツや台湾の団体が出演しています。地元からも、一般団体や中学校、高校の合唱部が素晴らしい演奏を披露しています。また、

平成11年の第10回から市内合唱団との総勢400人による合同合唱ステージを設け、さらに4年前からは招待合唱団と市内中学校との交流演奏会を催すなど、市民がともに歌い、より楽しく交流する合唱祭となっています。

5月23日、同合唱祭の初代実行委員長を務めた阿部興紀さん(桜木町)と前実行委員長の尾形洋さん(宇南十軒街)ほか関係者が市役所を訪ね、浅井市長に受賞を報告しました。

阿部さんは「市内の合唱団はもとより、さまざまな関係者の

努力と市の協力です。これまで17回の開催を重ね、『この合唱祭に招かれることが目標』という合唱団の話も聞くようになりました。今回の受賞を励みに、今後も頑張りたい」と受賞の喜びを語り、浅井市長が「都市として、産業だけでなく文化のレベルも高いことは重要です。これからも『合唱のまち』づくりに一層の活躍を」と祝福しました。

18回目となる今年の合唱祭は10月13日、一関文化センターで行われ、招待団体のほか、地元からは一関二高が出演予定です。



合唱祭のフィナーレ。「これ聴くのが楽しみ」という人も多い、招待合唱団と地元合唱団との400人による大合同合唱